

# Dの言葉は使わない

「輝く人とはどんな人?」「無意識レベルが下がるD」の言葉は「サバコ」で生きるとは、「D」の部位が必要」「社員も考えなければいけない」など、働く上でのいろいろなテーマや疑問点を投げかけ、現代人の脳レベルをチェックし、刺激を与えてくれるセミナーが14日、金沢市内で開催された。

今回のセミナーを企画したのは、協同組合士資屋北陸(金沢市、市山勉理事長)のデザイナーを謳いたりと、令和元年度の通常総会後、講師に一般社団法人ひとねるアカデミー(大分県、佐藤氏)の代表理事を務める佐藤陽平氏を招き、「先」ひとねる」について、「三行まで透明な時の打開法、河や南信州地方で『育てる』希望の作り方は一をテーマ」という意味があり、「ちゃんに開かれた 参加者は自分と人にしろよ」という気持ち



脳の無意識レベルを刺激しながら、新たな人材育成法を語る佐藤氏

## 土質屋北陸がセミナー

# 「自分の仕事が誰を幸せにするか」

### 自立と貢献 ひとねるアカデミーの佐藤陽平氏

を込めて付けたと説明し、クリエティブをつくる社を達成している家庭。一仕事のためのミッションを明確に地域・企業の様々な場面で「一仕事のためのミッションを明確に」一仕事のためのミッションを明確に「一仕事のためのミッションを明確に」



「SDGs」(持続可能な開発目標)で漁師が漁場の海底に海藻を

循環の思考は、マイナスの植え付け、それが地球を守るスパイラルを生んでしま 格好いい仕事として脚光を浴びている。自然に近いところでも、どうせも使わない「いい言葉を使えば行動が変える」Dの言葉(だっ)にチャンスがある(と述べて、)「いい言葉を使えば行動が変える」Dの言葉(だっ)にチャンスがある(と述べて、)「いい言葉を使えば行動が変える」Dの言葉(だっ)にチャンスがある(と述べて、)

## 漁師はSDGsに貢献?!